

09春闘へ向かって 職場に労働組合を作って声をあげよう！ 「生きさせる」のゼネストへ

あすはわが身、倒産・リストラ・賃下げの横行・・・闘わなければ生きられない。

1929年の大恐慌をはるかに超える世界金融大恐慌が始まっている。リーマン破綻ショックを契機に、全世界で信用収縮と貸し渋りが極限的に激化し、株価も全世界的に暴落した。大手金融への資本注入などしようとも实体经济の悪化が進行し、市場の安定にはほど遠く、振幅の大きな展開を繰り返しながら新自由主義は死の苦悶にあえいでいる。資本家たちはパニック状態だ。

こうした死の苦悶にあえぐ資本家どもは自分たちが生き残ろうとして労働者に倒産、首切り、賃下げ、過労死などのとんでもない攻撃を激化させている。こんな奴らに、か弱くお願いしたって通じない。今こそ、ストレートに怒りをぶつけ、「生活できるだけの賃金よこせ」「生きさせる」のゼネスト決起へ闘うことだ。「賃上げしたら会社がつぶれる」などの脅しに負けてはならない。

あなたは、職場で困っていることがありますか？

賃金が下がった

パワハラや、セクハラ

サービス残業

雇止め

肩たたき（退職勧奨）

配置転換

怪我や事故で泣き寝入り

1つでも該当したら裏面へゴー！

職場に組合はあるが、闘わない組合だ

闘う組合に変えよう

職場に組合はないが、仲間がいる

自分たちで職場に組合を作ろう

職場に組合もなく、すぐいっしょに闘う仲間もいない

ユニオン東京合同に加入しよう

資本主義の終わりの時代

サブプライム関連の損失は4月推計の1・5倍、143兆円に膨張したと言われている。本当はどこにどれだけ損失があるか誰も分からない。低所得者層から収奪したサブプライムローンが、証券化商品に姿を変え、世界中の金融機関にばらまかれた時限爆弾は、資本家たちも掌握できない。資本主義の命脈は基本的に尽きたのだ。

問題は、この世界金融大恐慌の時代に、労働者はいかに生き、いかに闘うか、だ。

金融大恐慌の震源地アメリカで、労働者がFRB（米連邦準備制度理事会）などへ一斉にデモをかけたことは労働者の進むべき道を指し示している。「市場原理」「官より民」「自己責任」「福祉無用」と居丈高に新自由主義政策をふりかざしてきた資本家連中に対する、「お前たちこそ自己責任でやれ！」「金持ちへの福祉をやめろ！」という怒りが、燃え上がったのだ。

「生きさせろ」のゼネスト

資本家連中を救済すればどうなるか。よりあくどく労働者から搾取・収奪し、あげくに資源・市場のぶん取り合いのための侵略戦争へ駆り立てていくのだ。資本家と労働者は非和解だ。労働者は団結して、資本家を打ち倒さない限り生きることができない。労働者は国際的にひとつの階級であり、団結して闘えば世界革命をやる力ももっているのだ。ゼネストで資本主義の終わりに引導を渡してやろう。



自分の職場に 労働組合の旗を

自分の職場からはじめよう。職場に労働組合がなければ自分で労働組合（分会）を作ろう。自分の職場に労働組合があるのに闘わない労働組合であるなら、闘う労働組合に作りかえよう。

職場に仲間を作って労働条件の改善を闘おう。

この時代、闘わなければ労働条件はどんどん悪化するだけだ。闘いが労働者の希望だ。

ユニオン東京合同は、職場の闘いを本気で考えている。職場に分会を作りたい仲間がいれば、いっしょに分会を作るとともに闘う。

みんなで闘えば恐くない。

「生きさせろ！」の大幅賃上げゼネスト 国鉄1047名解雇撤回！ 戦争・改憲阻止、麻生政権打倒！ 「万国の労働者、団結せよ！」を中心スローガンで闘おう。ゼネストをやって、労働者の団結の力でこの世の中を変えてやろう。

正規・非正規、様々な分断を打ち破って、全世界の労働者は団結し、新自由主義をぶっ飛ばそう。

ユニオン東京合同

東京都千代田区三崎町 2-17-8 皆川ビル 301

TEL&FAX 03-3262-4440

メール info@union-tg.org

ブログ <http://blog.union-tg.org/>

ホームページ <http://www.union-tg.org/>

郵便振替 00110-8-120661